

施工段階		地下工事		3	設備工事： 地中外壁貫通	シート番号 3-1
電気	空調	衛生	その他			
○	○	○	—			

ポイント

■施工前の準備

- ・地中外壁を貫通するスリーブを設ける場合、躯体とスリーブ材とのすき間、スリーブ材と配管または電線とのすき間から地下水が侵入しないよう止水処理を施すことが重要になります。
- ・スリーブ材は鋼管つば付スリーブとスリーブ材に止水材を巻きつけた工法があります。鋼管つば付スリーブを使用する場合、製作期間を考慮しておくことも必要です。

■適切な施工

- ・スリーブは適切な位置に取付けます。
- ・スリーブは万一、地下水が侵入した場合に外部に自然に排水できるよう外勾配に取付けます。
- ・スリーブに取付ける止水材はオーバーラップして巻きつけます。ただし、詳細は止水材メーカーの基準に準拠すること。

先輩アドバイス

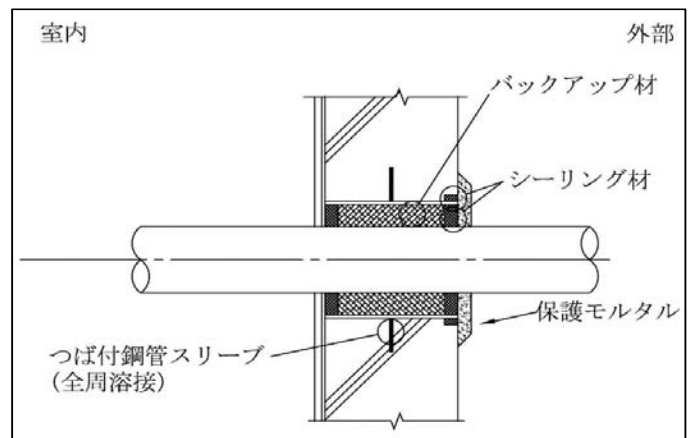
- ・スリーブ端部は、スリーブ材と躯体との間にすき間を設けて、シールが打設できるようにしておくことも重要です。
- ・スリーブに巻きつける止水材は基準以上としないこと。コンクリート中の水分で膨張し躯体に悪影響を与える場合があります。

チェック項目

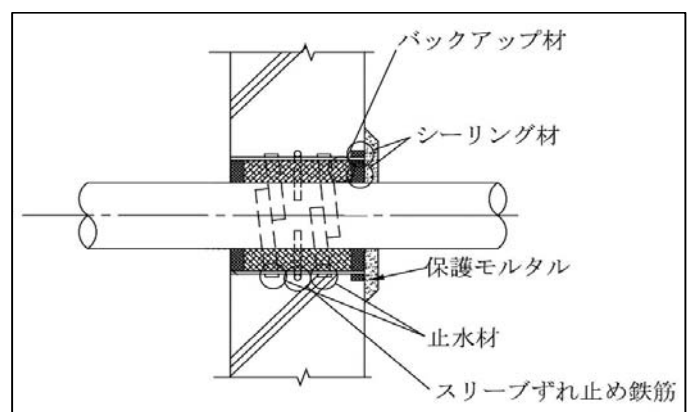
- 鋼管スリーブのつばは全周溶接されていますか。
- スリーブの取付状態に問題はありませんか。
- 躯体とスリーブ、スリーブと配管または電線とのすき間はシーリング材でシールしましたか。

失敗すると...

- ・スリーブから地下水が浸水し、地下室が水損します。また、貫通部を手直しするために外構を再び掘り起こす必要があります。



鋼管つば付スリーブ



止水材付スリーブ

共通管理項目	合理化省力化	施工性向上	品質・性能向上	工期短縮・圧縮	コスト削減(材料)	コスト削減(労務)	設備先行工事	工事区分見直し	責任所在明確化
		-	-	○	-	-	-	-	-
備考	参考文献：						制定	2019年3月1日	
	参考メーカー：						改訂		